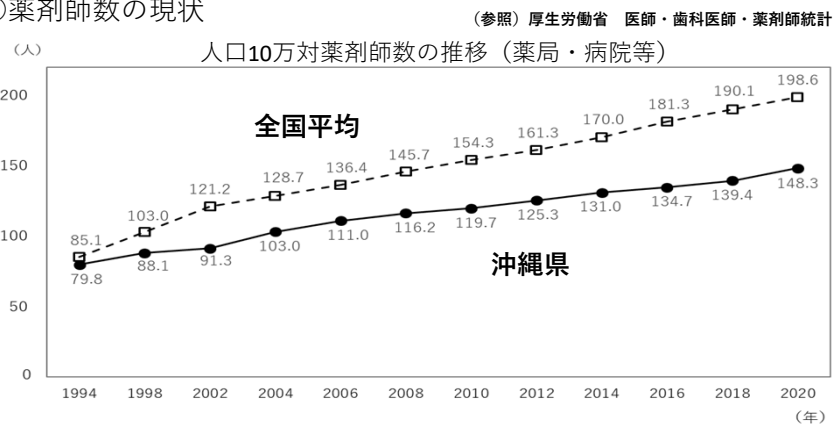


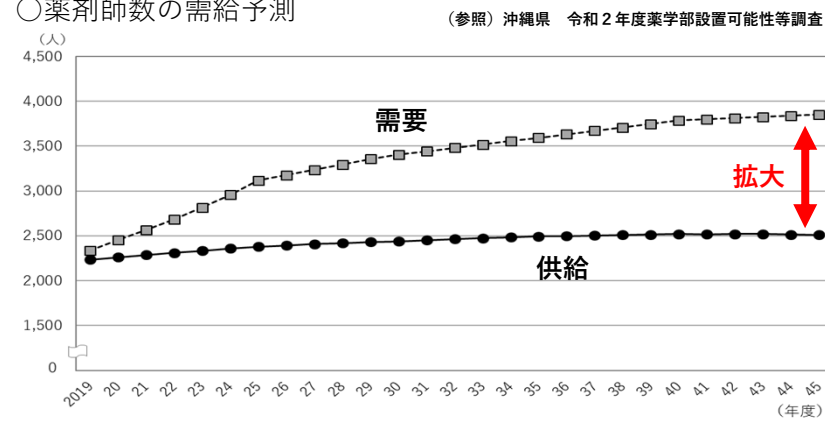
沖縄県薬剤師確保のためのアクションプランの概要

1 薬剤師数の現状と課題

○薬剤師数の現状



○薬剤師数の需給予測



- ・沖縄県の人口10万対薬剤師数(薬局・病院等)は、全国平均を大きく下回っており、2012年以降、全国最下位となっている。
 - ・本県が実施した2045年度までの薬剤師需給予測によると、長期的に薬剤師の需要が供給を上回り、需給ギャップは拡大する見通しである。
- ⇒慢性的な薬剤師不足を解消する施策が必要。**

2 これまでの主な取組

○薬剤師確保対策事業 (H26～)

- ・県内出身の薬学生に対し、県内医療機関、薬局等への就職について説明会を開催。

○薬剤師確保対策モデル事業 (H30～)

- ・県内で就業する薬剤師の確保を図るため、県外に居住する薬剤師免許取得者に対して、奨学金返還に必要な資金の一部を給付。

※「一定程度有効に機能」と評価しているが、初期アウトカムである各種指標の改善状況が必ずしも十分とは言えないことに留意が必要。

(参照) 沖縄振興の現状と課題－沖縄振興計画総点検結果(ロジックモデル等に基づく現状分析)

⇒更なる薬剤師確保対策が必要。

○薬学部設置可能性等調査事業 (R2～R3)

- ・県内薬剤師の需給予測及び県内国公立大学への薬学部設置の必要性、可能性等について調査を実施。

⇒県内国公立大学への薬学部設置の必要性等を確認。

3 沖縄県薬剤師確保のためのアクションプランの実施

目的：県内の慢性的な薬剤師不足を解消するとともに、薬剤師が幅広い分野において県民及び地域社会に貢献する環境を整えること。

○実施すべき取組

- ①中高生等の薬剤師・薬学部への関心の向上
- ②県内高校生等の薬学部への進学の実支援・促進
- ③薬学部生・卒業生の県内就職の促進
- ④薬剤師資格保有者の復職・就職支援
- ⑤薬剤師の資質向上

○活動指標

- ①薬科大学等における就職斡旋等の説明会の実施
- ②県内での就業を条件とした奨学金返還額の一部助成
- ③県内国公立大学薬学部設置に向けた検討・準備
- ④認定薬剤師等の資格取得にかかる費用の助成

薬剤師確保対策が沖縄県にもたらす3つの効果

○地域医療の向上への貢献

- ①薬剤師不足の解消
- ②地域医療体制の強化 など

○地域活性化への貢献

- ①地域経済発展への貢献
- ②理系進学希望者の県外流出の抑制
- ③若年人口の増加 など

○新たな産業の創出の可能性の拡大

- ①創薬等産業の振興
- ②研究開発力の向上

目標：2031年度までに人口10万人当たりの薬局・医療施設に従事する薬剤師数を198.6人(2020年時点の全国平均値)へ